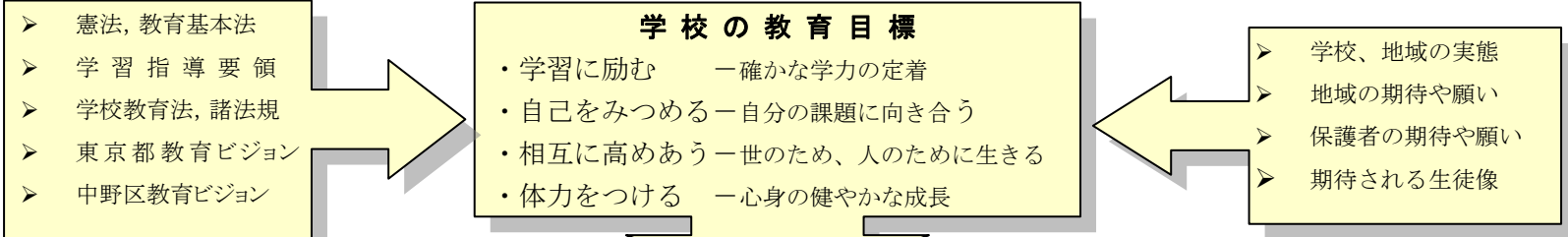


中野区立第二中学校

平成28年度学力の向上をはかるための全体プラン



学校の教育目標

- ・学習に励む — 確かな学力の定着
- ・自己をみつめる — 自分の課題に向き合う
- ・相互に高めあう — 世のため、人のために生きる
- ・体力をつける — 心身の健やかな成長

学校経営方針（学力に関わる要点）

一人ひとりの生徒に「確かな学力」を身につけるために・・・

①特別支援教育の視点（わかりやすい説明・定着させる工夫）

②授業規律の定着 ③「今日のねらい」を明確にした授業展開 ④習熟度に応じた課題の準備

⑤学習ガイダンス、学習コンテスト、放課後学習室の活用 ⑥家庭学習の喚起

生活指導の重点

- ・ 集団の一員としての自覚と、目標をもって自己実現に努める態度の育成を援助する
- ・ スクールカウンセラー等を含む教育相談委員会を中心に、個々の生徒への適切な支援について協議し、理解を深める

進路指導の重点

- ・ 自らの生き方を考え、生涯にわたって自己実現を図る能力や態度を育てる
- ・ 学ぶこと働くことの意義を理解させるキャリア教育を推進する

本校における「確かな学力」

本校では学習指導要領に示された基礎・基本を重視し、次の力を育成する。

- ・ 基礎的、基本的内容の確実な定着
- ・ 自ら学ぶ意欲
- ・ 課題に対して自ら考え、判断する力
- ・ 自分の思いや考えを伝える力
- ・ 他者の思いや考えを受け止める力

各教科授業改善プランより 授業改善5つの重点

- 発問を工夫することで、生徒の思考力・表現力・判断力を育て達成度を自己評価できるようにしていきます。
- 生徒の話し合い活動を取り入れ、自・他の意見交流を行い、論理的思考力を伸ばします。
- 授業をはじめ朝学習や小テスト指導等の機会を活用し、知識事項の定着を徹底します。
- さまざまな形態の文章を書く活動で、相手や場面に応じた表現する力を育みます。
- 授業の「ねらい」を明確にし、最後に「まとめ」を行います。わかる授業、楽しい授業を推進します。

道徳教育の指導の重点

- ・ 豊かな心を育て、未来に向けて社会を切り拓く実践的態度を育成する
- ・ 地域に貢献する中学生の育成をめざすとともにボランティア精神を養う
- ・ 伝統と文化を尊重し、我が国の郷土を愛し、他国を尊重し国際社会の平和と発展を願う心や環境を大切にすることを育む

特別活動の指導の重点

- ・ 豊かな学校生活を築こうとする自主的、実践的態度を育てるとともに、人間としての生き方についての自覚を養う
- ・ 自ら進んで健康の保持増進や体力の向上を図る態度を育て、心身の調和のとれた発達を促す

本校の授業改善に向けた視点

<p>教育課程編成上の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 少人数クラスの編成 ・ 授業時間の確保 ・ 週単位での授業数過不足の調整 	<p>特別支援教育の視点からの工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 指導のポイントの明確化 ・ I T、視聴覚教材の活用 ・ 学習環境の整備 ・ 学習指導支援員、学校支援ボランティア等の活用 ・ 教育相談委員会の活用 	<p>「わかる授業・考えさせる授業の工夫」</p> <p>～どの生徒も学習意欲を高める授業改善を目指して～</p> <ul style="list-style-type: none"> * 各教科における思考が深まる交流の場の工夫ある授業の実践 * 学習ガイダンスに関する研修 * 校内研修を活用した公開授業 * 教員どうしの授業相互見学 * 学習意欲を喚起する授業の工夫 * 楽しい授業の展開 	<p>評価・評定の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 各教科の評価評定の方法についての報告 ・ 指導と評価の一体化 ・ 課題途中での評価の機会を設けるなど形成的評価の工夫 	<p>家庭や地域との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 年2回の教育面談による保護者との連携 ・ 関係機関との連携 ・ 家庭学習の状況把握 ・ 各教科の評価・評定の方法についての説明 ・ 学校評価の活用 ・ 「二中ゆうねっと」等の地域人材の活用
---	---	--	---	---